

5-3. 災害対策・BCP検討WG

1. 主な活動の記録

(1) 災害対応 WG 並びに災害対策・BCP 検討 WG の開催

a) 委員会開催回数：2回

令和元年7月5日

令和元年9月30日

b) 演習

令和元年9月2日

(2) 災害時対応演習の実施

令和元年度の災害時対応演習は、災害時行動計画と災害対策本部・災害対策現地本部・災害対策支部設置要領に基づく連絡・伝達網の確認とその機能チェックを目的とし、近畿支部管内で大規模地震が発生したとの想定で実施した。

災害シナリオは、令和元年9月2日(月)11時に和歌山県南部 紀伊半島沖を震源とするマグニチュード8の大規模地震災害が発生との想定により、近畿支部から災害対策近畿現地本部設置の報告を受け、高野会長(本部長)による災害対策本部及び災害対応 WG の召集および災害対策本部会議の開催を行うとともに、災害伝言ダイヤルにて近畿支部からの災害発生と災害対策近畿現地本部設置の報告の確認を行った。

また、各支部(災害対策現地本部ならびに災害対策支部)から協会本部(災害対策本部)への連絡は、「災害時行動計画」の災害対策行動に準じて、報告書式の内容の確認もあわせて、実施した。なお、平成11年度より継続実施している防災演習の想定災害発生地域の最近の実施地域は表1の通りである。

(3) 災害時対応演習における WEB 会議の導入

今年度の災害時対応演習の特徴は、昨年に引き続き WEB 会議を導入したことである。災害対策本部、災害対策現地本部及び近畿地整に派遣された リエゾンの3者を WEB 会議でつなぎ、情報をリアルタイムで共有した。

表1 災害時対応演習における想定災害発生支部

年 度	想定災害発生支部
平成 27 年	中国支部
平成 28 年	北陸支部
平成 29 年	四国支部
平成 30 年	関東支部
令和元年	近畿支部

(4) 災害時対応演習等の課題

演習後の各支部からの実施報告から以下のような課題が明らかになった。

a) 災害演習として、新聞社に建コンの活動実績を見せる (PR) が重要

b) WEB 会議の活用を進めるため、使用するサービスやハードウェアの検討

(5) 本省意見交換会への対応

本省との意見交換会で昨年の西日本豪雨を踏まえた様々な課題を整理して、要望と提案として取り纏め、特定テーマとして意見交換を行った。意見交換を行った主なテーマは以下の通りである。

a) 初動対応について

b) 災害時のコンサルタント活用策について

c) 災害対応支援の強化に向けての弾力的運用について

2. 次年度の活動について

(1) 災害時対応演習

災害対策現地本部を東北支部におき、上記の課題への対応を含めた演習を実施する。

(2) 災害時に円滑な対応を行うための検討

本省との意見交換会で迅速な災害対応の連携について共有できたことを踏まえ、災害時のコンサルタント更なる活用策などの「検討を推進する。

- ・災害時の建設コンサルタンтон果たすべき役割の明確化
- ・災害協定締結の基本的な考え方
- ・労基法 33 条適用条件

(災害対策・BCP検討WG WG長

松田 寛志)